

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		観光振興事業					
事業の概要		<p>本町のすぐれた地域資源を活かし、町内外の方々に本町独自の文化を体験できる機会を提供することで、観光産業の活性化、ひいては地域経済全体の活性化を目指す。 また、本町を広くPRし、知名度の向上や来訪者の増加、地元製品の販売促進を図るものである。</p> <p><ひまわり15万本> 平成20年8月4日～8月12日開催</p> <p><ちりめん街道まるごとミュージアム> 平成20年10月7日実施</p> <p><与謝野自慢> 平成20年11月11日実施</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	4,654	本年度事業費	4,654	交付金交付額	2,210
事業評価	事業の必要性	本町の観光産業の活性化、ひいては地域経済全体の活性化を目指し、本町独自の文化を体験できる機会を町内外の方々に提供する。また、本町を広くPRし、知名度の向上や来訪者の増加、地元製品の販売促進を図る。					
	事業の有効性	本町の主要産業であるちりめん産業が長期の低迷状態にある中、町内の観光・産業資源を町外に積極的に周知することで、今後の本町の産業を豊かなものにするためのきっかけとするものである。					
	事業の効率性	本町のすぐれた地域資源を活かしたイベントを開催することにより、「ここならではの交流の場づくり」を推進するものである。また、与謝野町の知名度の向上や、観光客数・観光消費額の増加が見込め、町内の観光振興に資するものとなる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		地域文化を公開し町外から積極的に誘客を図ることで、観光需要を刺激し地元産業の活発化につなげる。また、新町の一体感の醸成を図ることで与謝野町としての成熟化に資するものである。					
3 リーディング・モデル成果							
4 広域的波及成果 本町には本事業で実施したイベントに関わるものの他にも多くの観光資源があり、これらも同時に発信していくことで観光地としての与謝野町の印象を向上させることができる。 同時に、京都の丹後の与謝野町として知名度を向上させることで、丹後一円の観光圏を訪れる方にも効果的に誘致が図れる。							
5 行財政改革に資する成果 イベントにおいては、実行委員会に管理運営等を委託し、行政の業務負担を軽減させると同時に、可能な限り積極的に職員を動員し、経費の削減に努めている。また、PR事業では、全職員が来場者の誘致を図り、積極的に事業効果の向上を図っている。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。